

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009年11月1日現在

概況 ワシントン州東部の11月1日に終る1週間は、EC地区では平年より低目の気温、SE地区では平年より多少高目の気温の気象であった。降雨は各地で観られ、特に10月26日に集中した地区があった。1週間の降水量はEC地区では0.28~0.55インチ、SE地区では0.60~0.64インチであった。Spokane郡では10月26日に0.66インチの降雨があり、Topsoilの流出(erosion)が起きた。1週間の州平均農作業稼働日数は4.1日(前週:4.7日)であった。TopsoilおよびSubsoilの土壌水分は前週より“Surplus”が増加した。Subsoilの水分は略5年平均の水準より良くなった。2010年産冬小麦の播種は、全州の99%(昨年:97%、5年平均:99%)にて完了し、82%にて出芽した。出芽はEC地区では低温の為遅れ気味であった。出芽後の生育はWalla Walla郡では極めて良好と報告され、又Whitman郡でも2週続けての降雨が作柄を改善したと報告された。EC地区の小麦圃場のTopsoil水分が改善され、出芽後の生育に有効であった。再播種がEC地区の出芽の悪い圃場にて行われていた。冬小麦の作柄は前週より改善した。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	7	14	51	28
	5-Yr Ave.	6	18	66	10
Subsoil	This week	16	25	58	1
	5-Yr Ave.	13	35	50	2
Irrigation	This week	0	3	94	3
	5-Yr Ave.	2	6	91	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	99	98	97	99
Emerged	82	80	70	82

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	3	6	38	54	2
Last week	3	7	42	45	3

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.